

○令和7年8月22日、23日地元説明会 質疑応答

	質問	回答
1	園舎の構造を教えて欲しい。	2階建ての鉄骨造になる、
2	園庭は砂なのか。	真砂土に樹皮繊維改良剤を混合したものを使用する。
3	周辺への土埃対策は十分なのか。	園庭を園舎の北側に設けることで、2階建ての園舎（高さ約10m）が園庭を囲む形になる。土埃は園舎を越えないと住宅街に影響しないような配置のため影響は少なくなる。さらに真砂土に樹皮繊維改良剤を混ぜているため、土埃は出にくい園庭となっている。
4	それは絶対に影響しないということか。洗濯物が干せなくなるのは困る。	絶対とは言い切れない。日常的に過ごす分には砂ぼこりは園舎が防ぐため住宅街への影響は少ないと考えている。台風のような強風時は土埃の影響はあるかもしれない。
5	人工芝やゴムチップ等にしてもらえないのか。	真砂土と比較して、コスト面で採用していない。実際に人工芝を使用している園では、設置してから数年で全面張替え作業が発生している。
6	園舎予定地の東側、南側の斜面は砂ぼこりや落葉の対策はされるのか。	東側は個人所有地、南側は緑ヶ丘の区画整理事業での換地になり、今回の事業では工事範囲に含めることができないため、従来の環境と同じになる。
7	横断歩道を照らす街灯で夜間時、家の窓が開けられないのだが、対策は考えてくれたのか。	現在、指向性照明等を検討している。
8	防災面に関しての話はないのか。	防災計画としては、一時避難所を想定しており、マンホールトイレ、かまどベンチ、防災倉庫等を検討している。12月に地元住民を対象にワークショップという形式で防災についてのテーマで開催を予定している。
9	どのような方法で参加者を募るのか。	緑ヶ丘の防災会や地元住民の中から参加者を募りたいと考えているが、方法はこれから検討する。
10	地域交流スペースとは何か。	多目的室としての利用を考えており、具体的な利用は今後決めていく。
11	工事損害調査とは具体的に何をするのか。	工事による周囲の建物や地盤への影響を工事前、工事後に調べ、損害の有無を記録する調査になる。具体的には、造成工事前に建物のひび割れ、傾き等を確認し、建築工事後に変化がないか比較する。

12	職員の駐車場はどこになるのか。	西側の駐車場を利用する。
13	防音対策は十分なのか。	園庭で遊ぶ園児の声は2階建ての園舎で防ぎ、住宅街から園庭を離す配置で影響が少なくなると考えている。東側に面する遊戯室は開口部を設けず、吸音材を用いた防音壁を使用し、近隣住宅へ配慮した計画としている。
14	園舎南側に園児が出て、下の住宅街に声が聞こえるのではないのか。	1階南側に園児が出ていく構造ではない。2階は0歳児、1歳児の保育室になり、年齢層的に子どもの声が、下の住宅街に影響を与えにくいと考えている。
15	駐車場と園舎建設場所の位置は逆に出来ないのか。	現在の計画では考えていない。 (理由) 駐車場予定地の北側の斜面は現在土砂災害（特別）警戒区域（レッドゾーン、イエローゾーン）に指定されており、土砂災害対策擁壁を建設予定である。しかし、擁壁を設置したとしても土砂災害警戒区域（イエローゾーン）は解除されないため、未指定の現在の場所へ建設する計画になっている。
16	ボーリング調査は行っているのか。調査をしているなら、地盤は固いのか。	園舎付近と駐車場に1箇所ずつボーリング調査を行っており、園舎の基礎部分の調査はこれから行う。すでに調査しているところは2～3m下に岩盤があり、固い地盤になる。
17	過去の説明会では進入路は現在の位置よりも、もっと北側にするという話ではなかったのか。	前回までの説明会で、説明はしておりますが、以下の理由で現在の計画となっている。 ・進入路を北にずらしたとしても、登り坂の途中から頂上付近になるだけで、安全性は変わらない。 ・園舎敷地の北側は事業を行っており、事業に支障をきたすほどの土地の取得が困難である。 ・園舎敷地の北側に進入路を設置する場合、斜面沿いになり、土砂災害対策擁壁を進入路に沿って建設するため、多大な費用が必要となる。
18	近隣住民としては、住宅街より頂上付近に進入路と横断歩道があることで、（横断歩道を）利用する保護者や園児との事故が起きにくく安心だと思う。	現在、保育園に登園する家庭は全員車で来ている。理由としては、園児を連れて、布団などの荷物を持参するのは、保護者にとって負担が大きいためだと考えられる。横断歩道を利用するのは、県営住宅の家庭と路線バスを利用する方になると予想できる。今回ここに横断歩道を設置した場合、周辺住民の方にとっても、バス停を利用する際に道路を安全に横断しやすいという利点がある。
19	今年、近隣で起きた自転車と車の衝突事故で、注意喚起の看板が設置されたので、さらに保育園の注意看板が増えると、逆に分かりづらくなるのではないのか。	県警と再度設置する注意喚起標示について協議を行う。

20	進入路に車の走行音対策の防音フェンスを設置してもらいたい。	現段階は計画していないが、検討する。
21	進入路の安全対策で勾配を緩くすることだが、イメージを教えて欲しい。	登り坂の頂点が現在位置よりも、西側（奥）にずれることになる。
22	進入路のすぐ南の市道を利用して、園へ進入してくる車があるのではないのか。	市道から進入するには、車の動線的に難しい。また園から保護者へ市道を利用しないように周知させる。
23	進入路から県道に出ていく側の道路の幅員が広いのはどういう意図があるのか。	右折車と左折車を並列させることで、渋滞緩和の意図がある。
24	街路樹を全て撤去ということだが、歩道と車道の境にはオレンジのボールの様な構造物は設置できないのか。	街路樹の撤去の意図は上り走行車の横断歩道付近の見通し確保のためである。縁石は設置予定だが、ボールとなると子どもの高さくらいになり、上り走行車からの視認性に影響を与える可能性があるため、県警と協議する。
25	日照時間についてだが、2階建てになると、冬至の時は日陰になる時間が長くなるのではないのか。日照時間については調査しているのか。	主に西日になると思われるが、これから調査を行うことになる。
26	強風時、園舎から物が住宅街へ落ちてこないように周辺をネットで囲ってもらいたい。	必要と判断すれば、対策を行う。
27	園舎の周辺に防音壁は設置するのか。	防音壁は設置せずに、転落防止柵を設置する。
28	園舎を全体的に西にずらして少しでも住宅街から離すことはできないのか。	現在の計画では、園舎のすぐ西に調整池を地下に設置予定のため、難しいが、検討する。
29	夜間は門などで進入できないようにするのか。	夜間は門などで進入できないようにする。
30	県道の接続部から西側の駐車場への道路を直線ではなく、登ったところで、東側に曲げて、南側を通すことはできないのか。	進入路の勾配を緩くするため、進入路と園舎敷地との高低差が1〜2mあり、曲げようとする車の動線的に難しい。仮に道路を作った場合、東側、南側の住宅への走行音対策が必要になる。
31	園庭が北側にあるが、子どもの声が北の山で反響して、住宅街への影響はあるのかの調査をおこなっているのか。	調査はしていない。
32	園舎の配置案はこの説明会で決定するのか。	今回の説明会で回答できていない日照時間などについて、回答してからになる。今後説明会になるかは、分からないが、何らかの方法で対象となる住民へ説明してからになる。